

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌の術後アベマシクリブ適応症例に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年12月6日～2024年12月31日

〔研究課題〕

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌の術後アベマシクリブ適応症例の検討

〔研究目的〕

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌の初期治療においてハイリスク症例では化学療法が適応となりますが、アンストラサイクリンおよびタキサンによる治療、TC 療法、S-1、またはカペシタビンの追加など選択肢が複数あり、明確な基準はありません。さらに2021年12月よりアベマシクリブが術後アジュバント療法の適応となりましたが国内での治療経験はまだ少ないため、ハイリスク症例の治療方針の参考として当院での現状を検討します。

〔研究意義〕

ハイリスク症例に適切にアベマシクリブを投与できれば、予後改善が期待できます。

〔対象・研究方法〕

2010年1月から2021年12月までの期間に帝京大学医学部附属病院で手術を行った、ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌症例のうち、術後アベマシクリブの適応である、リンパ節転移4個以上、または、リンパ節転移1-3個かつ、腫瘍径5cm以上、グレード3、Ki67>20%のいずれかを満たす患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、情報の加工を行います。研究終了後に情報を帝京大学臨床研究センターに提出し、同センターで10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 神野浩光 職名 帝京大学医学部 外科学講座 教授
所属： 帝京大学医学部 外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外科
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1231(代表)